

# 未来への教訓

復興！ 大津波の記憶を風化させない  
 平成29年(2017年) 7月の出来事  
 ~ 地元報道より ~

南三陸町

6月30日に公務員にボーナスが支給された。一般職員で「2.045ヵ月」平均が43.5歳で59万円。病院職員は平均48歳で約55万円。特別職の町長は107万円、教育長96万円、議長は約53万円、議員は約40万円だった。

◆南三陸ホテル観洋で、イヌのマスコット付きキーホルダー(チャーム)制作のワークショップが開かれた。国内外で活躍するファッションデザイナー吉田多恵さんがデザインしたもの。参加者は今後、学んだ技術を生かし自宅で製作にあたる。今回は吉田さんの友人の女優藤原紀香さんが激励に訪れた。

◆南三陸町の志津川魚市場のミズダコ漁の水揚げが始まり、3日漁船12隻が入港し、昨年初日より2トン多い約9トンが水揚げされた。価格はほぼ例年並みでキロ当たり平均470円~460円で取引された。

◆JA宮城中央会会長は石川前会長の後任として、JA南三陸組合長の高橋正氏が選ばれた。高橋氏は南三陸町歌津出身の67歳で、初めてJA南三陸から選出された。

ハローワーク気仙沼の5月の雇用情勢で、建設関連業が前月比で3割減少した。復興事業の進捗が影響とみられる。

◆県・気仙沼市・南三陸町・ハローワーク気仙沼が、来春卒業の高校生を対象とした「合同企業説明会」がケーウェブで5日開催され、両町の建設・

水産加工業・福祉施設など44の企業のブースに、地元希望者ら70人が参加した。

南三陸町ホテル観洋で国内の「インターネットクリエイター」の研修会が開催された。参加者45人は志津川市街地の現状や、今が旬のウニ丼をインターネットで発信した。

◆カリフォルニア州の高校生22人が南三陸町を訪れ、南三陸町役場で佐藤町長から「日頃の訓練が大事」など防災について学んだ。

◆気仙沼市・南三陸町の年間結婚数が290件で離婚は105件だった。南三陸町は昨年の婚姻は36件で、10年は93件と4割にとどまっている。離婚は14件と2件増加している。

◆気仙沼・南三陸の県による「地域コミュニティ再生支援事業」の本年1回目の審査が終了、両市町で15団地の交付が決まった。

◆13日南三陸町の南三陸ホテル観洋で、宮城・三重・広島県の3県の知事会議が開催される。東日本大震災から職員派遣の謝意と、被災の視察をする。一行は仙台~石巻~南三陸・気仙沼を上空から視察したあと、会議で被災地の復興・復興について意見を交換する。

◆志津川高校では九州豪雨災害の募金活動を生徒会が中心となって10日から行っている。「一日でも早く立ち直ってほしい」、「復興支援の恩返しを」と活動している。

◆南三陸町の「サンオーレそではま」海水浴場が7年ぶりに15日オープンする。県が2016年5月からの復旧工事を開始し、砂浜・階段護岸・波消し潜堤・荒島パークや荒島までの防波堤の沈下部のかさあげ工事など総事業費約15億円で今年6月に完了した。

南三陸町志津川で20日、東日本大震災で被災したウジエスーパー南三陸店が再開した。9時の開店には60人ほどが列をつくり、品ぞろえは豊富で住民は助かっている。従業員の8割は地元採用している。

◆日本ミシュランガイドに気仙沼・南三陸から、2017特別版に21軒が掲載される。

◆気仙沼・南三陸の「三陸沿岸道路整備促進協議会」の11人が「20年度開通を求める要望書」の陳情に国土交通省へ。

南三陸町の漁港施設災害復旧事業である「防潮堤工事」が生活基盤整備を優先での復興計画の中で進められている。今年6月までで事業費202億円のうち、7ヵ所2億6千万円で進捗率は1.3%にとどまっている。

◆南三陸町で29日に開催する「志津川湾夏まつり福興市」で、1600発の花火が打ち上げられる。

南三陸町の三陸道の志津川IC~南三陸海岸IC間で、20日深夜に乗用車が逆走し貨物車と衝突し、男性(63)が死亡した。

◆16年の観光客の入り込み数の気仙沼圏域は、前年比0.3%の微増となった。

◆志津川高校の「同窓会総会」が21日開催され、100名余りが集まった。「母校の活性化に丸で」と小畑会長を再選した。

◆南三陸町志津川地区の「本浜七福神舞」が東団地西集会所で披露された。

南三陸町新庁舎の森林管理協議会(FSC)の認定審査で、9月の供用開始に問題はないと好評だった。建設費は本庁舎20億円、支所は7億6千万円だった。

◆チリ陸軍総司令官が南三陸町を訪れ、佐藤町長より復興の進捗状況を聞き視察した。

◆志津川高校では地元事業所16社を迎え、26日模擬面接会を行ない、就職を希望する生徒の全員の採用に取り組んだ。

◆南三陸町は、無料電話帳や町政情報を発行している「サイネックス(大阪)」と、観光案内や防災情報などを伝える「南三陸町暮らしの便利帳」を共同発行する。年末に全戸に配布予定としている。

南三陸町と気仙沼市の復興の進捗と問題を比較して見れます。

## 7月の出来事

### 気仙沼市

気仙沼市の鹿折・南気仙沼両地区の、UR都市機構による土地区画整備事業区域での土地活用に向けた「エントリー制度」は、街並みを見据えた契約が増加している。事業者との土地売買・賃貸成立が20件、現在協議中が31事業者となっている。

気仙沼市のふるさと納税の16年度分が過去最高の1億5千万円となった。寄付件数は6841件で金額は1億4946万円となった。昨年と比べ1722件と件数減少の中で、額は1554万円増加した。理由に昨年10月にシステムのリニューアルや、1件当たりの寄付単価が平均2万円台にアップした事による。

地方自治体が行なう地方創生の取り組みを支援する国の「企業版ふるさと納税」の本年度の認定に気仙沼市が申請して「来て・観て・感じて気仙沼プロモーションプロジェクト」が認定された。トヨタグループの総合商社の豊田通商が支援で、事業費500万円でPR動画を作成し、年内に完成させる。

気仙沼市の国からの「普通交付税」が17年度88億8千万円と昨年より4億4千万円(4.8%)減少し、3年連続で減っている。減少は人口減少によるもので、特別措置により大きな減額となっていないが将来はさらに厳しいものとなる。

千葉印刷本浜営業所の慰霊塔は、いつでも手を合わせるができます。

# 年賀状印刷受け賜ります

■「年賀はがき」「喪中はがき」の見本デザインを掲載しました。デザイン見本はこれ以外にもあります。

千葉印刷(46-3069)をご用命下さい(志津川商工団地内)。  
 年末年始のご準備をお手伝いいたします。(喪中はがきは、午前中にご注文いただければ午後5時には仕上がります)



喪中につき年末年始のご挨拶を  
 ご遠慮申し上げます  
 三月に父〇〇が八十八才にて永眠いたしました  
 ここに本年中に賜りましたご厚情を深謝申し上げます  
 明年も変わらぬご交際のほどお願い申し上げます  
 平成二十九年十一月



年賀はがき見本  
 30種多数準備しています。その他に住所移動・結婚報告・誕生など各種祝いご連絡内容を準備いたします。

官製はがき(郵便局書)・私製書(切手を貼ります)